

M-AUDIO®

OXYGEN49
OXYGEN61

ユーザーガイド

ユーザーガイド

はじめに

同梱品

Oxygen シリーズ MKV 本体
USB ケーブル
ソフトウェアダウンロードカード
クイックスタートガイド

サポート

製品の最新情報（システム要件や互換性情報など）は、M-Audio のホームページ m-audio.jpにてご確認ください。

また、製品のサポートについては、m-audio.com/support をご参照ください。

キーボードを接続する前に

Oxygen MKVは、1本のUSB ケーブルでキーボードへの電源供給を行います。コンピュータに装備されたUSBポートや、ACアダプタで動作するパワードUSBポートに接続することをお勧めします。

接続例



初期設定 – DAW セットアップ

Oxygen MKVには、DAWのフェーダー、ボタン、ノブ、パッド、お気に入りのDAWショートカット、そしてすべてのバーチャル・インストゥルメントをコントロールする機能があります。これらを使用するためには、まずは正しくDAWをセットアップする必要があります。

1. **DAW/PRESET ボタン**を押します。DAW LEDが点灯し、DAW モードになります。
2. **DAW/PRESET ボタン**を**長押し**して、ディスプレイのDAW Selectメニューを開きます。
3. **DAW/PRESET ボタン**を押したまま **(<) / (>) ボタン**を押し、DAW を選択します。
4. **(<) / (>) ボタン**を使用しディスプレイで選んだ DAW は、そのまま現在使用中の DAW として設定されます。

ほとんどのDAWではOxygen MKVのキーボードは自動的に認識され、Oxygen MKVの操作子を自動的にDAWモードのコントロール・サーフェイスとして設定し、またPresetモードのバーチャルインストゥルメントコントローラーとして設定します。

- **NC1** : Mackie 1から通常のMackieメッセージが送信されます。Mackieコントロールは一般にCubase、Studio One、Logic、ReaperなどのDAWソフトウェアに使用します。
- **NC2** : Mackie 2から通常のMackieメッセージが送信されます。Mackie 1との違いは、より解像度の高いパンのスweep信号を送信できることです。Mackieコントロールは一般にCubase、Studio One、Logic、ReaperなどのDAWソフトウェアに使用します。
- **M|h** : 主にPro ToolsのようなDAWソフトウェアにMackie/HUIメッセージが送信されます。
- **N1** : MIDI 1からAbletonに通常MIDIメッセージが送信されます。
- **N2** : MIDI 2からMPC BeatsやReasonに通常MIDIメッセージが1セット送信されます。
- **N3** : MIDI 3からAbletonに通常MIDIメッセージが1セット送信されます。クリップのローンチやその他のアドバンス機能に使用することができます。

初期設定 – バーチャルインストゥルメント/プラグインの設定

適切な DAW を選択したところで、Oxygen に付属するすべてのバーチャル・インストゥルメント・プラグインと、お手持ちのその他のバーチャル・インストゥルメント・プラグインが動作するように設定します。

1. DAW LED が点灯している場合は、**DAW/PRESET ボタン**を押して Preset モードにします。DAW LED が消灯します。
2. **(<) / (>) ボタン**を押して、**ディスプレイ**でプリセットを選択します。**Oxygen Preset Editor Software** を使用すれば、バーチャル・インストゥルメントのユーザー・プリセットを作成することができます。
3. **(<) / (>) ボタン**で選んだプリセットは、そのまま現在使用中のプリセットとして設定されます。

Oxygen MKV付属のすべてのバーチャルインストゥルメントにはプリセットが用意されています。Oxygen Pro付属ではないバーチャルインストゥルメントでは、お気に入りのDAWでMPC Beats をプラグインのラッパーとして、およびOxygen Proの**MPC PI**プリセットを使用することをおすすめします。MPC Beatsはプラグインのラッパーとしてすべての主流なDAWで開くことができ、それぞれのDAWの得意分野を統合することができます。これによって、MPC Beatsをソフト・シンセ/バーチャル・インストゥルメント・プラグインのラッパーとして使用することができ、Oxygen MKVのすべての操作子をお気に入りのソフト・シンセ/バーチャル・インストゥルメントに自動的にマッピングすることができます。

付属のMPC Beatsソフトウェアをダウンロードするには、付属のソフトウェア・ダウンロード・カードの指示に従ってください。

Presets

1. MPC PI
2. Hybrid 3
3. Mini Grand
4. Velvet

5. Xpand!2
6. Vacuum
7. Boom
8. DB33
9. General MIDI
10. General MIDI

付属ソフトウェアのインストール

m-audio.com にアカウントを作成し、ログイン後にお手元の Oxygen MKV を製品登録してください。

製品登録が完了したら、**Oxygen Pro Series Software Manager** をダウンロードしてください。

Oxygen Pro Series Software Manager は、付属のソフトウェアなどをダウンロードするのに必要になります。

DAWおよびバーチャル・インストゥルメント

Software Manager では、全ての付属ソフトウェアにアクセスすることができます。

Oxygen Pro シリーズのキーボードには、2つのDAW、**MPC Beats** および **Ableton Live Lite** が付属しているため、すぐにプロフェッショナルなソフトウェアを使って音楽制作を始めることができます。加えてDAWで使用するための**MPC Beats**のエクステンションパックのセットおよび**AIR** バーチャルインストゥルメントプラグインが付属しています。

付属の**MPC Beats**、**Ableton Live Lite DAW software**、**AIR** バーチャル・インストゥルメントプラグイン、および**MPC Beats** エクステンションパックをダウンロードするには、お手元の Oxygen MKV を m-audio.com で製品登録してください。

Preset Editor

Preset Editor software は、**Oxygen Pro Series Software Manager** からダウンロードします。ダウンロードするには、まず **Software Manager** の右上のギアアイコンをクリックし、「Show Advanced Software」のボックスにチェックを入れてください。**Preset Editor software** は Oxygen Pro シリーズのキーボードに DAW および Preset のカスタムマッピングをロードするために使用できます。**Preset Editor** ソフトウェアにはエディターユーザーガイドが用意されています。

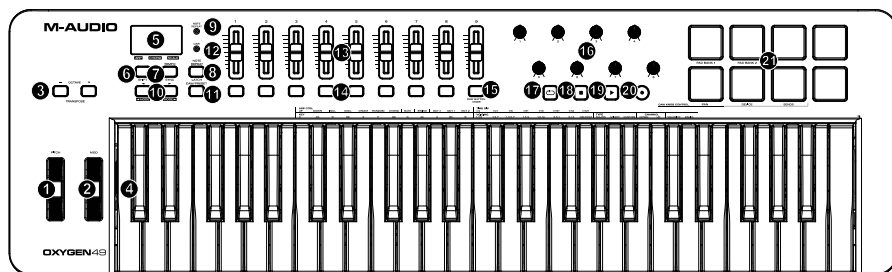
MPC Beats

MPC Beats softwareは、**Oxygen Pro Series Software Manager** からダウンロードします。MPC Beatsは伝説的なAKAI Pro MPCおよびMPC2デスクトップソフトウェアに基づいて設計された直感的に使えるDAWで、かつソフトシンセ/バーチャルインストゥルメントのプラグインを含んでいます。素晴らしいビートを作成するのに必要なツールを全て備え、新しいビートメーカーに力を与えます。

既存のDAWとの完全な統合のために、MPC Beatsはすべての主流のDAWのプラグインとして開くことができます。これによって、MPC Beatsをソフトシンセ/バーチャルインストゥルメントのプラグインとして使用することができ、すべてのOxygenのコントロールをお気に入りのソフトシンセ/バーチャルインストゥルメントプラグインにマッピングさせることができます。

Oxygen 49

トップパネル

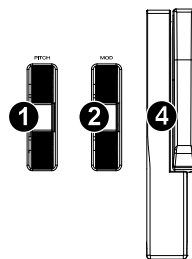


ピッチベンドホイール/モジュレーションホイール/Octave ボタン

1. **ピッチベンド・ホイール**：このホイールを操作すれば、演奏中にピッチを上下させることができます。ピッチベンドのレンジはご使用のソフトウェアシンセにより異なります。ピッチベンド・ホイールはスプリング式で、指を離すと通常の位置・音程に戻ります。
2. **モジュレーション・ホイール**：このホイールを動かして、演奏中にエフェクトの連続コントローラーデータ（モジュレーション）を上下させ、エフェクトの値が増減させることができます。

一般的なシンセサイザーでは、このホイールはビブラート（イントネーションの変化）またはトレモロ（音量の変化）の制御に割り当てられています。

Oxygen 49では、モジュレーションホイールに割り当てるエフェクトを変更したり、様々なMIDIメッセージの送信に割り当てることも可能です。



3. **OCTAVEボタン (- / +)**：これらのボタンを使って、キーボードのレンジを1オクターブずつ上下にシフトします。

SHIFTボタンを押しながらOCTAVEボタンのいずれかを押しと、キーボードのピッチを数セミトーンだけを上下どちらかにトランスポートすることができます。

4. **キーボード**：ペロシティ対応のキーボードで、MIDIノート情報を送出します。鍵盤の上に印字のあるサブ機能にアクセスする際にも使用します。

キーボードのサブ機能にアクセスするには、**SHIFT**を押しながらアクセスしたい機能名の印字がある鍵盤を押します。

注意：アクセスできるサブ機能の上限は、キーボードで使用中のモードにより異なります。例えば、Smart Chord モードが ON の場合、SHIFT と鍵盤を押してアクセスできるのは Smart Chord モードで使用できるサブ機能のみとなります。

鍵盤のサブ機能リスト

アルペジエーター

- **ARP CTRL (アルペジエーターコントロール)**：アルペジエーターの設定です。以下のパラメーターの中から選択します。
UP、DOWN、INCL、EXCL、ORDER、RANDOM、CHORD：この7つのパラメーターの1つを選択すると、キーまたはパッドを押したときに音が鳴る順番を設定することができます。
- **GATE**：アルペジオノートの長さを調節する設定です。
- **SWING**：アルペジオノートのリズムを調節する設定です。
- **OCT 0、OCT 1、OCT 2**：アルペジオパターンの中に含まれるオクターブ数の設定です。
- **TIME DIV (タイムディビジョン設定)**：ノート・リピート機能とアルペジエーター機能のタイミング・リズム (タイムディビジョン) の設定を選択します。選択可能なタイムディビジョン設定は以下の通りです。
1/4、1/4T、1/8、1/8T、1/16、1/16T、1/32、1/32T

Smart ChordモードとSmart Scaleモード

- **KEY**：Smart ChordモードとSmart Scaleモードに使用する鍵盤の設定です。選択可能な鍵盤は以下の通りです。
C、Db、D、Eb、E、F、Gb、G、Ab、A、Bb、B
- **VOICING**：Smart Chordモード鍵盤を1つだけ押した際に演奏される和音の設定です。選択可能な設定は以下の通りです。
1,3,5、1,3,7、1,3,5,7、1,5,9、1,5,12、3,5,1、5,1,3、RANDOM
- **TYPE**：Smart ChordモードとSmart Scaleモードに使用する音階の設定です。選択可能な音階の設定は以下の通りです。
MAJOR、MINOR、CUSTOM

MIDIチャンネル、ベロシティカーブ、パニック機能

- **CHANNEL (DOWN/UP)**：キーボード/パッドの演奏やホイールコントロールのMIDI信号を送信するMIDIチャンネルを選択します。
- **VELOCITY**：キーボード/パッドのベロシティカーブを設定します。キーボードのベロシティカーブ設定にはキーボードを、パッドのベロシティカーブ設定にはパッドを触ってからこの設定を選んでください。
- **PANIC**：パニック機能を設定します。パニック機能を使用すると、16のすべてのMIDIチャンネルの全ノートの消音 (ノート・オフ) 情報が送信されます。

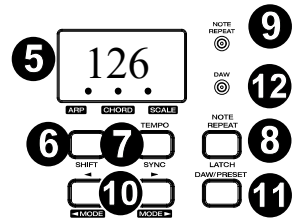
これらの機能について詳しくは、m-audio.comをご参照ください。

更なる機能にアクセスするには、m-audio.comにてソフトウェア「Preset Editor」をご参照ください。

メイン機能

5. **ディスプレイ**：このLEDディスプレイには最新の操作内容やプログラム、コントローラーの状態が3桁の数字で表示されます。

LEDディスプレイの3つのドットは、4つのモード（アルペジエーター、アルペジエーター・ラッチ、Smart Chord、Smart Scale）のいずれかがONの状態でご各モードのステータスを表します。ドットはそれぞれ下記3つのモード名の上にあります。（アルペジエーターモード、アルペジエーター・ラッチモードのステータスは両方ARP表記の上のドットでご確認ください）。



- **ARP**：アルペジオモードがONの状態ではLEDが点灯します。
アルペジエーター・ラッチモードがONの状態では、LEDが点滅します。
 - **CHORD**：Smart ChordがONの状態ではLEDが点灯します。
 - **SCALE**：Smart ScaleがONの状態ではLEDが点灯します。
6. **SHIFTボタン**：SHIFTボタンを長押ししながらコントロール機能やキーボードのボタンを押すと、各機能のサブ機能にアクセスできます。
7. **TEMPOボタン**：このボタンを押すとOxygen 49のテンポを設定できます。長押ししてディスプレイのテンポ編集メニューを開き、(<) または (>) ボタンを使用してテンポを変更することもできます。
SYNC：SHIFTボタンを押ししながらTEMPOボタンを押すと、SYNC機能でOxygen 49のテンポをDAWと同期することもできます。
8. **NOTE REPEAT (ノート・リピート) ボタン**：このボタンを押すとパッドのノート・リピート機能がONになります。
LATCH (固定)：SHIFTボタンを押ししながらLATCHボタンを押すと、演奏したノート・リピートが固定され、指を離しても再生が継続する状態にすることができます。
ノート・リピート機能がONの状態でSHIFTボタンを押しながら鍵盤でタイムディビジョンを押せば、ノート・リピート機能とアルペジエーター機能のタイムディビジョンの設定を選択することができます。
9. **NOTE REPEAT LED**：ノート・リピートモードがONの状態でご点灯するLEDです。
10. (<) / (>) ボタン：プリセットモードでプリセットを選択するボタンです。
(< MODE) / (MODE >)：(<) / (>) ボタンのサブ機能です。SHIFTボタンを押しながら (<) / (>) ボタンのいずれかを押しすと、4つのモード（アルペジエーター、アルペジエーター・ラッチ、Smart Chord、Smart Scale）を切り替えることができます。
(<) / (>) ボタンを両方同時に押しすと、現在ONの状態になっているモードをOFFにすることができます。例えばSmart Scaleモード使用中に (<) / (>) ボタンを両方同時に押しすと、通常の状態に戻れます。

注意：ボタンの機能は使用中のモードにより異なります。下記をご参照ください。

DAWモードの場合：DAWモードで (<) / (>) ボタンを使用すると、トラックバンクを切り替えることができます。

プリセットモードの場合：プリセットモードで (<) / (>) ボタンを使用すると、プリセットを切り替えることができます。エディットモードで (<) / (>) ボタンを使用すると、編集可能なコントロール機能の項目を切り替えることができます。

11. **DAW / PRESET ボタン**：このボタンを押すと、フェーダー/ノブ/ボタン/パッドのプリセットモード/DAWモードをONにすることができます。
DAWモードがONの状態ではフェーダー、フェーダーボタン、(<) / (>) ボタン、パッドまたはノブを操作すると、Mackie、Mackie/HUI、またはMIDI CCメッセージが送信されます（選択されているDAWより異なる）。
プリセットモードがONの状態では、(<) / (>) ボタンを使用してバーチャル・インストゥルメントを選択することができます。

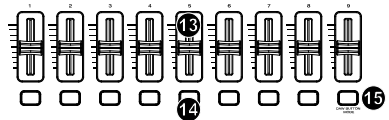
重要：使用中の DAW を切り替えるには **SHIFT ボタン**を押しながら **DAW/PRESET ボタン**を押します。

- NC1：Mackie 1から通常のMackieメッセージが送信されます。Mackieコントロールは一般にCubase、Studio One、Logic、ReaperなどのDAWソフトウェアに使用します。
- NC2：Mackie 2から通常のMackieメッセージが送信されます。Mackie 1との違いは、より解像度の高いパンのスイープ信号を送信できるところです。Mackieコントロールは一般にCubase、Studio One、Logic、ReaperなどのDAWソフトウェアに使用します。
- M|h：主にPro ToolsのようなDAWソフトウェアにMackie/HUIメッセージが送信されます。
- N1：MIDI 1からAbletonに通常のMIDIメッセージが送信されます。
- N2：MIDI 2からMPC BeatsやReasonに通常のMIDIメッセージが1セット送信されます。
- N3：MIDI 3からMPC BeatsやReasonに通常のMIDIメッセージが1セット送信されます。

12. **DAW LED**：DAW モードが ON の状態で点灯する LED です。

フェーダー/ボタン

13. **フェーダー (1~9)**：フェーダーを上下に動かすと、割り当てたコントロールを操作でき、通常の MIDI CC メッセージやその他の MIDI メッセージを送信することができます。送信される MIDI メッセージの種類は、割り当てたパラメータや、使用するプリセットにより異なります。



DAW モードの場合：トラックフェーダーまたはその他の DAW コントロールのチャンネルフェーダーメッセージを送信します。

プリセットモードの場合：事前に決定された CC メッセージまたはユーザーが割り当てを編集した MIDI CC メッセージを送信します。

14. **フェーダーボタン**：マッピング可能なボタンで、Noteメッセージ/CCメッセージまたはその他の MIDI メッセージ送信に割り当てることができます。

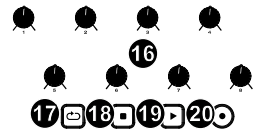
DAWモードの場合：Mackie/HUIメッセージもしくは事前に決定されたCCメッセージを送信し、トラックへの録音/トラックの選択/ミュート/ソロボタンとして機能します。

プリセットモードの場合：事前に決定されたCCメッセージまたはユーザーが割り当てを編集したMIDI CCメッセージを送信します。

15. **DAW BUTTON MODE ボタン**：DAWモードがONの状態では**SHIFTボタン**を押しながらこのボタンを押すと、フェーダーボタンに割り当てられたモード（トラックへの録音/トラックの選択/ミュート/ソロ）を切り替えることができます。

ノブ/トランスポートコントロール

16. **ノブ (1~8)**：ノブを左右に回すと、割り当てたコントロールを操作でき、通常の MIDI CC メッセージやその他の MIDI メッセージを送信することができます。送信される MIDI メッセージの種類は、割り当てたパラメータや、使用するプリセットにより異なります。各ノブはそれぞれ別の MIDI パラメーターに割り当てることができます。



DAW モードの場合：Mackie/HUI メッセージもしくは事前に決定された CC メッセージを送信します。トラックのパン（音の定位）、デバイスコントロール、AUX センドをノブで操作することができます。

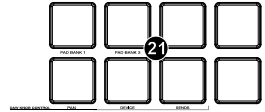
プリセットモードの場合：プリセット 1~10 を使用し、ユーザーが割り当てを編集した MIDI メッセージを送信します。

17. **LOOP ボタン**：DAW 上でのループ機能の ON/OFF を切り替えます。
18. **STOP ボタン**：このボタンを押すと、DAW で開いているソングが停止します。ダブルクリックすると開いている曲が停止し、再生ヘッドがソングの最初に戻ります。

19. ▶ **PLAYボタン**：このボタンを押すと、DAWでソングが再生します。
20. ● **RECORDボタン**：このボタンを押すと、DAWで録音が可能になります。

パッド

21. **パッド (1~8)**：パッドを使用して演奏すれば、MIDIノート ON/OFFメッセージやベロシティデータを送信することができます。
SHIFTボタンを押しながらパッドを押すと、下記のパッドのサブ機能や設定にアクセスできます。



PAD BANK 1 (Pad 1)：パッド (1~8) で使用するパッドバンクを BANK 1 に設定します。

PAD BANK 2 (Pad 2)：パッド (1~8) で使用するパッドバンクを BANK 2 に設定します。

DAWノブ・コントロール

PAN (Pad 6)：選択すると、それぞれのノブでソフトウェア上のトラックのパン・コントロールが可能になります。

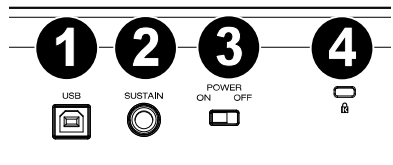
DEVICE (Pad 7)：選択すると、それぞれのノブでソフトウェア上のトラックのデバイスコントロールが可能になります。

SENDS (Pad 8)：選択すると、それぞれのノブでソフトウェア上のトラックの AUX センド・コントロールが可能になります。

注意：これらのノブコントロール機能は、すべての DAW ソフトウェアで使用できるとは限りません。

リアパネル

1. **USBポート**：コンピュータに接続し、キーボードへの電源供給とMIDIデータの送受信を行うUSB 2.0ポートです。
2. **サステインペダル接続端子**：サステインペダル（別売）を接続する入力端子です。キーを演奏しペダルを踏むと、キーから指を離している間もサステイン効果を得られます。

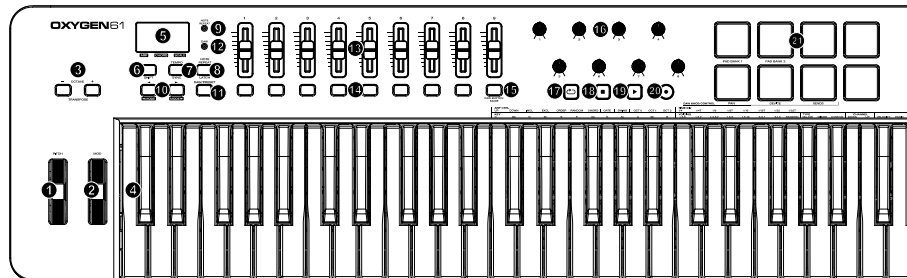


注意：サステインペダルを踏みながら Oxygen 49 の電源を入れしないでください。サステインペダルは Oxygen 49 起動時に OFF の状態だと自動的に認識されるため、踏みながら電源を入れると、挙動が正反対（踏んでいない状態でサステイン効果がかかり、踏むと OFF になる）になってしまいます。

3. **電源スイッチ**：Oxygen 49の電源のON/OFFを切り替えます。
4. **Kensington ロック・スロット**：盗難防止用の標準的なラップトップスタイルの Kensington ・セキュリティケーブルを接続できる端子です。

Oxygen 61

トップパネル



ピッチベンドホイール/モジュレーションホイール/Octave ボタン

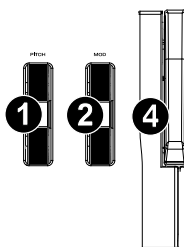
1. **ピッチベンド・ホイール**：このホイールを操作すれば、演奏中にピッチを上下させることができます。ピッチベンドのレンジはご使用のソフトウェアシンセにより異なります。ピッチベンド・ホイールはスプリング式で、指を離すと通常の位置・音程に戻ります。



2. **モジュレーション・ホイール**：このホイールを動かして、演奏中にエフェクトの連続コントローラーデータ（モジュレーション）を上下させ、エフェクトの値が増減させることができます。

一般的なシンセサイザーでは、このホイールはビブラート（イントネーションの変化）またはトレモロ（音量の変化）の制御に割り当てられています。

Oxygen 61では、モジュレーションホイールに割り当てるエフェクトを変更したり、様々なMIDIメッセージの送信に割り当てることも可能です。



3. **OCTAVEボタン (- / +)**：これらのボタンを使って、キーボードのレンジを1オクターブづつ上下にシフトします。

SHIFTボタンを押しながらOCTAVEボタンのいずれかを押すと、キーボードのピッチを数セミトーンだけを上下どちらかにトランスポートすることができます。

4. **キーボード**：ペロシティ対応のキーボードで、MIDIノート情報を送出します。鍵盤の上に印字のあるサブ機能にアクセスする際にも使用します。

キーボードのサブ機能にアクセスするには、**SHIFT**を押しながらアクセスしたい機能名の印字がある鍵盤を押します。

注意：アクセスできるサブ機能の上限は、キーボードで使用中のモードにより異なります。例えば、Smart Chord モードが ON の場合、SHIFT と鍵盤を押してアクセスできるのは Smart Chord モードで使用できるサブ機能のみとなります。

鍵盤のサブ機能リスト

アルペジエーター

- **ARP CTRL (アルペジエーターコントロール)**：アルペジエーターの設定です。以下のパラメーターの中から選択します。
UP、DOWN、INCL、EXCL、ORDER、RANDOM、CHORD：この7つのパラメーターの1つを選択すると、キーまたはパッドを押したときに音が鳴る順番を設定することができます。
- **GATE**：アルペジオノートの長さを調節する設定です。
- **SWING**：アルペジオノートのリズムを調節する設定です。
- **OCT 0、OCT 1、OCT 2**：アルペジオパターンの中に含まれるオクターブ数の設定です。
- **TIME DIV (タイムディビジョン設定)**：ノート・リピート機能とアルペジエーター機能のタイミングト・リズム (タイムディビジョン) の設定を選択します。選択可能なタイムディビジョン設定は以下の通りです。

1/4、1/4T、1/8、1/8T、1/16、1/16T、1/32、1/32T

Smart ChordモードとSmart Scaleモード

- **KEY**：Smart ChordモードとSmart Scaleモードに使用する鍵盤の設定です。選択可能な鍵盤は以下の通りです。
C、Db、D、Eb、E、F、Gb、G、Ab、A、Bb、B
- **VOICING**：Smart Chordモード鍵盤を1つだけ押した際に演奏される和音の設定です。選択可能な設定は以下の通りです。
1,3,5、1,3,7、1,3,5,7、1,5,9、1,5,12、3,5,1、5,1,3、RANDOM
- **TYPE**：Smart ChordモードとSmart Scaleモードに使用する音階の設定です。Smart Chordモードで選択可能な音階の設定は以下の通りです。
MAJOR、MINOR、CUSTOM
Smart Scaleモードで選択可能な音階の設定は以下の通りです。
MAJOR、PENTATONIC MAJOR、MINOR、MELODIC MINOR、HARMONIC MINOR、PENTATONIC MINOR、CUSTOM DORIAN、CUSTOM BLUES

MIDIチャンネル、ペロシティカーブ、パニック機能

- **CHANNEL (DOWN/UP)**：キーボード/パッドの演奏やホイールコントロールのMIDI信号を送信するMIDIチャンネルを選択します。
- **VELOCITY**：キーボード/パッドのペロシティカーブを設定します。キーボードのペロシティカーブ設定にはキーボードを、パッドのペロシティカーブ設定にはパッドを触ってからこの設定を選んでください。
- **PANIC**：パニック機能を設定します。パニック機能を使用すると、16のすべてのMIDIチャンネルの全ノートの消音 (ノート・オフ) 情報が送信されます。

これらの機能について詳しくは、m-audio.comをご参照ください。

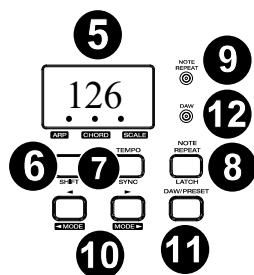
更なる機能にアクセスするには、m-audio.comにてPreset Editorソフトウェアをダウンロードしてください。

メイン機能

5. **ディスプレイ**：このLEDディスプレイには最新の操作内容やプログラム、コントローラーの状態が3桁の数字で表示されます。

LEDディスプレイの3つのドットは、4つのモード（アルペジエーター、アルペジエーター・ラッチ、Smart Chord、Smart Scale）のいずれかがONの状態でもモードのステータスを表します。ドットはそれぞれ下記3つのモード名の上にあります。（アルペジエーターモード、アルペジエーター・ラッチモードのステータスは両方ARP表記の上のドットでご確認ください）。

- **ARP**：アルペジオモードがONの状態ではLEDが点灯します。アルペジエーター・ラッチモードがONの状態では、LEDが点滅します。
 - **CHORD**：Smart ChordがONの状態ではLEDが点灯します。
 - **SCALE**：Smart ScaleがONの状態ではLEDが点灯します。
6. **SHIFTボタン**：SHIFTボタンを長押ししながらコントロール機能やキーボードのボタンを押すと、各機能のサブ機能にアクセスできます。
7. **TEMPOボタン**：このボタンを押すとOxygen 61のテンポを設定できます。長押ししてディスプレイのテンポ編集メニューを開き、(◀) または (▶) ボタンを使用してテンポを変更することもできます。



- SYNC**：SHIFTボタンを押ししながらTEMPOボタンを押すと、SYNC機能でOxygen 61のテンポをDAWと同期することもできます。

8. **NOTE REPEAT (ノート・リピート) ボタン**：このボタンを押すとパッドのノート・リピート機能がONになります。

LATCH (固定)：SHIFTボタンを押ししながらLATCHボタンを押すと、演奏したノート・リピートが固定され、指を離しても再生が継続する状態にすることができます。

ノート・リピート機能がONの状態ではSHIFTボタンを押ししながら鍵盤でタイムディビジョンを押せば、ノート・リピート機能とアルペジエーター機能のタイムディビジョンの設定を選択することができます。

9. **NOTE REPEAT LED**：ノート・リピートモードがONの状態では点灯するLEDです。

10. **(◀) / (▶) ボタン**：プリセットモードでプリセットを選択するボタンです。

(◀ MODE) / (MODE ▶)：(◀) / (▶) ボタンのサブ機能です。SHIFTボタンを押ししながら (◀) / (▶) ボタンのいずれかを押すと、4つのモード（アルペジエーター、アルペジエーター・ラッチ、Smart Chord、Smart Scale）を切り替えることができます。

(◀) / (▶) ボタンを両方同時に押すと、現在ONの状態になっているモードをOFFにすることができます。例えばSmart Scaleモード使用中に (◀) / (▶) ボタンを両方同時に押すと、通常の状態に戻れます。

注意：ボタンの機能は使用中のモードにより異なります。下記をご参照ください。

DAWモードの場合：DAWモードで (◀) / (▶) ボタンを使用すると、トラックバンクを切り替えることができます。

プリセットモードの場合：プリセットモードで (◀) / (▶) ボタンを使用すると、プリセットを切り替えることができます。エディットモードで (◀) / (▶) ボタンを使用すると、編集可能なコントロール機能の項目を切り替えることができます。

11. **DAW / PRESET ボタン**：このボタンを押すと、フェーダー/ノブ/ボタン/パッドのプリセットモード / DAW モードを ON にすることができます。

DAW モードが ON の状態でフェーダー、フェーダーボタン、(◀) / (▶) ボタン、パッドまたはノブを操作すると、Mackie、Mackie/HUI、または MIDI CC メッセージが送信されます（選択されている DAW より異なる）。

プリセットモードが ON の状態では、(◀) / (▶) ボタンを使用してバーチャル・インストゥルメントを選択することができます。

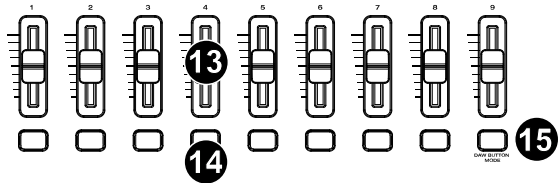
重要：使用中の DAW を切り替えるには **SHIFT ボタン**を押しながら **DAW/PRESET ボタン**を押します。

- **NC1**：Mackie 1から通常のMackieメッセージが送信されます。Mackieコントロールは一般にCubase、Studio One、Logic、ReaperなどのDAWソフトウェアに使用します。
- **NC2**：Mackie 2から通常のMackieメッセージが送信されます。Mackie 1との違いは、より解像度の高いパンのスイープ信号を送信できることです。Mackieコントロールは一般にCubase、Studio One、Logic、ReaperなどのDAWソフトウェアに使用します。
- **M|h**：主にPro ToolsのようなDAWソフトウェアにMackie/HUIメッセージが送信されます。
- **N1**：MIDI 1からAbletonに通常のMIDIメッセージが送信されます。
- **N2**：MIDI 2からMPC BeatsやReasonに通常のMIDIメッセージが1セット送信されます。
- **N3**：MIDI 3からAbletonに通常のMIDIメッセージが1セット送信されます。クリップのローンチやその他のアドバンス機能に使用することができます。

12. **DAW LED**：DAW モードがON の状態で点灯するLED です。

フェーダー/ボタン

13. **フェーダー (1~9)**：フェーダーを上下に動かすと、割り当てたコントロールを操作でき、通常のMIDI CCメッセージやその他のMIDIメッセージを送信することができます。送信されるMIDIメッセージの種類は、割り当てたパラメータや、使用するプリセットにより異なります。



DAW モードの場合：トラックフェーダーまたはその他のDAWコントロールのチャンネルフェーダーメッセージを送信します。

プリセットモードの場合：事前に決定されたCCメッセージまたはユーザーが割り当てを編集したMIDI CCメッセージを送信します。

14. **フェーダーボタン**：マッピング可能なボタンで、Noteメッセージ/CCメッセージまたはその他のMIDIメッセージ送信に割り当てることができます。

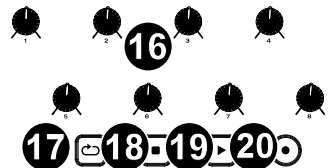
DAWモードの場合：Mackie/HUIメッセージもしくは事前に決定されたCCメッセージを送信し、トラックへの録音/トラックの選択/ミュート/ソロボタンとして機能します。

プリセットモードの場合：事前に決定されたCCメッセージまたはユーザーが割り当てを編集したMIDI CCメッセージを送信します。

15. **DAW BUTTON MODEボタン**：DAWモードがONの状態では**SHIFTボタン**を押しながらこのボタンを押すと、フェーダーボタンに割り当てられたモード（トラックへの録音/トラックの選択/ミュート/ソロ）を切り替えることができます。

ノブ/トランスポートコントロール





16. **ノブ (1~8)**：ノブを左右に回すと、割り当てたコントロールを操作でき、通常のMIDI CCメッセージやその他のMIDIメッセージを送信することができます。送信されるMIDIメッセージの種類は、割り当てたパラメータや、使用するプリセットにより異なります。各ノブはそれぞれ別のMIDIパラメーターに割り当てることができます。



DAW モードの場合：Mackie/HUIメッセージもしくは事前に決定されたCCメッセージを送信します。トラックのパン

(音の定位)、デバイスコントロール、AUX センドをノブで操作することができます。

プリセットモードの場合：プリセット 1～10 を使用し、ユーザーが割り当てを編集した MIDI メッセージを送信します。

17.  **LOOPボタン**：DAW上でのループ機能のON/OFFを切り替えます。
18.  **STOPボタン**：このボタンを押すと、DAWで開いているソングが停止します。ダブルクリックすると開いている曲が停止し、再生ヘッドがソングの最初に戻ります。
19.  **PLAYボタン**：このボタンを押すと、DAWでソングが再生します。
20.  **RECORDボタン**：このボタンを押すと、DAWで録音が可能になります。

パッド

21. **パッド (1～8)**：パッドを使用して演奏すれば、MIDIノートON/OFFメッセージやベロシティデータを送信することができます。

SHIFTボタンを押しながらパッドを押すと、下記のパッドのサブ機能や設定にアクセスできます。

PAD BANK 1 (Pad 1)：パッド (1～8) で使用するパッドバンクをBANK 1に設定します。

PAD BANK 2 (Pad 2)：パッド (1～8) で使用するパッドバンクをBANK 2に設定します。



DAWノブ・コントロール

PAN (Pad 6)：選択すると、それぞれのノブでソフトウェア上のトラックのパン・コントロールが可能になります。

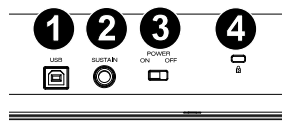
DEVICE (Pad 7)：選択すると、それぞれのノブでソフトウェア上のトラックのデバイスコントロールが可能になります。

SENDS (Pad 8)：選択すると、それぞれのノブでソフトウェア上のトラックのAUX センド・コントロールが可能になります。

注意：これらのノブコントロール機能は、すべてのDAWソフトウェアで使用できるとは限りません。

リアパネル

1. **USBポート**：コンピュータに接続し、キーボードへの電源供給とMIDIデータの送受信を行うUSB 2.0ポートです。
2. **サステインペダル接続端子**：サステインペダル (別売) を接続する入力端子です。キーを演奏しペダルを踏むと、キーから指を離している間もサステイン効果を得られます。



注意：サステインペダルを踏みながら Oxygen 61 の電源を入れしないでください。サステインペダルは Oxygen 61 起動時に OFF の状態だと自動的に認識されるため、踏みながら電源を入れると、挙動が正反対 (踏んでいない状態でサステイン効果がかかり、踏むと OFF になる) になってしまいます。

3. **電源スイッチ**：Oxygen 61の電源のON/OFFを切り替えます。
4. **ケンジントンロック・スロット**：盗難防止用の標準的なラップトップスタイルのケンジントン・セキュリティケーブルを接続できる端子です。

操作

この章では Oxygen シリーズキーボードの特徴について説明します。

Oxygen シリーズの基本概要

この項では Oxygen シリーズキーボードのいくつかの基本的な概要について説明します。

キーボード

オクターブとトランスポジション

テンポ・コントロール

ノート・リピート/ラッチ・ボタン

プリセット

DAW とプリセット・モード

SHIFT

(◀) / (▶) ボタン

アルペジエーターとラッチ・コントロール

スマート・コード・コントロール

スマート・スケール・コントロール

DAW ボタン・コントロール

DAW ノブ・コントロール

チャンネル・セクション

ペロシティ・カーブ

パニック

ファクトリー・リセット

各項では、このガイドの他の関連する項へのリンクを含んでいるため、そちらも併せてご参照ください。

キーボード

キーボードはペロシティ対応で、10 オクターブにわたり利用可能な 127 の全ての範囲の MIDI ノートにアクセスすることができます。

SHIFT を長押ししながらラベリングされた鍵盤を押すと、素早くコード機能を編集したり、グローバルチャンネルを変更することができます。

オクターブとトランスポジション

Key Octave +/- ボタンを使用して鍵盤は利用可能な 127 の全ての範囲の MIDI ノート (10 オクターブ) にアクセスすることができます。加えて、上下どちらにもキーボードを 12 半音 (1 オクターブ) まで移調することができます。

キーボードのオクターブを変更するには、**Key Octave +/-** ボタンを使用して、それぞれ上下させてください。**ディスプレイ**は一時的に **OCT** と現在のオクターブ位置を表示します。

Oxygen 49 は 3 オクターブ下、4 オクターブ上までシフトすることができます。

Oxygen 61 は 3 オクターブ下、3 オクターブ上までシフトすることができます。

キーボードのトランスポジションを変更するには、**Shift** を長押ししてから、**Key Octave +/-** ボタンを使用して、それぞれ上下させてください。**ディスプレイ**は一時的に **TRANS** と現在のトランスポジション(-12 to 12)を表示します。

テンポ・コントロール

テンポを編集するには、Tempo ボタンを押します。一定のテンポで **TEMPO** ボタンを繰り返しタップするか、**TEMPO** ボタンを長押しすることでも **TEMPO EDIT** モードに入ることができます。**TEMPO EDIT** モードに入ったら、**(<)** / **(>)** ボタンを使って利用可能なパラメーター値をスクロールすることができます。

SYNC : テンポ情報がキーボードの内蔵クロックから送信されるか、外部 DAW にシンクさせるかを選択します。

Available Values: Internal、External

BPM ###: 20.00 – 240.00

BPM .#: .0 – .9

注意 : クロックメッセージは Oxygen Port 1 (Oxygen ##/USB MIDI) で送受信されます。

Note Repeat/Latch ボタン

このボタンを長押しすると、パッドのノート・リピート/ロール機能が有効になります。

SHIFT とこのボタンを一緒に押しすと、Note Repeat ボタンの Latch 機能が有効になります。

ノート・リピートが有効な場合、**(<)** / **(>)** ボタンを使用して現在の **アルペジエーター** とパッドのノート・リピートの **Time Division** 設定を変更することができます。

アルペジエーターが有効な場合、**SHIFT** と **Time Division** とラベリングされた鍵盤と一緒に押すことでも **Time Division** 設定を変更することができます。

- 1/4
- 1/4T
- 1/8
- 1/8T
- 1/16
- 1/16T
- 1/32
- 1/32T

プリセット

プリセットにはあなたの Oxygen の操作子、チャンネル設定、鍵盤のゾーン設定等のアサイン情報を保存できます。Oxygen 49 と 61 の内蔵メモリには **10 プリセット** まで保持することができ、各バーチャルインストゥルメントやプロジェクト/セッションに対して目的のプリセットを使用することができます。

お手元の Oxygen MKV を m-audio.com で製品登録し、**Oxygen Series Software Manager** をダウンロードすることをおすすめします。

Software Manager では、**Preset Editor** を含む全ての付属ソフトウェアにアクセスすることができます。**Preset Editor** ではハードウェアのインターフェースを使用せずに、Oxygen MKV の操作子からコンピューターに送信される様々なメッセージを視覚的かつ直感的に編集することができます。**Preset Editor** ではコンピューターでカスタムプリセットをセーブしたりロードしたりすることができます。

Oxygen MKV で **Preset プリセット** を選択するには、**DAW/PRESET** ボタンを押してボタンを消灯させ **Preset Mode** にします。ディスプレイに Preset Selection スクリーンが表示されるので、**(<)** / **(>)** ボタンを押して目的のプリセットを選択します。

Oxygen MKV で **DAW プリセット** を選択するには、**DAW/PRESET** ボタンを長押ししてボタンを点灯消させ **DAW Mode** にします。

ディスプレイに DAW Preset Selection スクリーンが表示されるので、(<) / (>) ボタンを押して目的の DAW プリセットを選択します。

DAW と Preset モード

Oxygen MKV を DAW で使用するためにセットアップしたら、Preset か DAW いずれかのキーボードの操作モードを設定してください。操作モードを選択することによって、DAW の操作子をコントロールする DAW モードと、ソフト・シンセ/バーチャルインストゥルメントをコントロールする Preset モードのどちらを有効にするかを素早く切り替えることができます。

これらの 2 つの操作モードは MIDI キーボードの編集可能な操作子を決定します。

- **DAW:** DAW モードでは、キーボードの操作子はフェーダー、ボタン、ノブ、場合によっては DAW のパッドにマッピングされます。
 - **NC1:** Mackie 1 から通常の Mackie メッセージが送信されます。Mackie コントロールは一般に Cubase、Studio One、Logic、Reaper などの DAW ソフトウェアに使用します。
 - **NC2:** Mackie 2 から通常の Mackie メッセージが送信されます。Mackie 1 との違いは、より解像度の高いパンのスイープ信号を送信できることです。Mackie コントロールは一般に Cubase、Studio One、Logic、Reaper などの DAW ソフトウェアに使用します。
 - **M|h:** 主に Pro Tools のような DAW ソフトウェアに Mackie/HUI メッセージが送信されます。
 - **N1:** MIDI 1 から Ableton に通常の MIDI メッセージが送信されます。
 - **N2:** MIDI 2 から MPC Beats や Reason に通常の MIDI メッセージが 1 セット送信されます。
 - **N3:** MIDI 3 から Ableton に通常の MIDI メッセージが 1 セット送信されます。クリップのローンチやその他のアドバンス機能に使用することができます。
- **Preset:** Preset モードでは、キーボードの操作子はフェーダー、ボタン、ノブ、選択したバーチャルインストゥルメントのパッドにマッピングされます。キーボードの編集可能な操作子は任意の機能に割り当てることができます。以下のプリセット・マッピングは Oxygen Preset Editor で編集後、キーボードの内蔵メモリに保存し、後でロードすることができます。
 - MPC PI
 - Hybrid 2
 - Mini Grand
 - Velvet
 - Xpand!2
 - Vacuum
 - BOOM
 - DB33
 - General MIDI
 - General MIDI

キーボードを DAW モードに設定するには、DAW/Preset ボタンを押します。DAW モードを選択すると、ボタンの LED が点灯します。

どの DAW をコントロールするのか設定するには：

DAW モード中に DAW/Preset ボタンを長押しし、(<) / (>) ボタンを押して目的の DAW を選択します。

ほとんどの DAW では Oxygen MKV のキーボードは自動的に認識され、Oxygen MKV の操作子を自動的に DAW モードのコントロール・サーフェイスとして設定し、また Preset モードのバーチャルインストゥルメントコントローラーとして設定します。

キーボードを Preset モードに設定するには、DAW/Preset ボタンを押します。ボタンの LED が消灯します。

選択中のプリセットを変更するには：

DAW/Preset ボタンを押してディスプレイに **Preset Select** メニューを表示させます。

(<) / (>) ボタンで利用可能なプリセットを切り替えます。

Oxygen MKV 付属のすべてのバーチャルインストゥルメントにはプリセットが用意されています。Oxygen Pro 付属ではないバーチャルインストゥルメントでは、お気に入りの DAW で MPC Beats をプラグインのラッパーとして、および Oxygen Pro の MPC PI プリセットを使用することをおすすめします。MPC Beats はプラグインのラッパーとしてすべての主流な DAW で開くことができ、それぞれの DAW の得意分野を統合することができます。これによって、MPC Beats をソフト・シンセ/バーチャル・インストゥルメント・プラグインのラッパーとして使用することができ、Oxygen MKV のすべての操作子をお気に入りのソフト・シンセ/バーチャル・インストゥルメントに自動的にマッピングすることができます。

付属の MPC Beats ソフトウェアをダウンロードするには、付属のソフトウェア・ダウンロード・カードの指示に従ってください。

SHIFT ボタン

このボタンを長押しすると、Shift を押しながら使用するキーボードの機能が有効になります。

(<) / (>) ボタン

キーボードの編集モードでは、このボタンは選択項目のスクロールに使用します。DAW モードでは、このエンコーダーは上下もしくは左右のスクロールに使用可能ですが、どちらの挙動になるかはご使用の DAW の特性、および SHIFT を同時に押しているか否かによっても変わります。Preset モードでは、このボタンでプリセットを選択することができます。

ノート・リピート機能が ON になっている状態では、このボタンでタイムディビジョンの設定を選択することができます。

TEMPO ボタンを押しながらこのボタンを押すと、テンポ (BPM) を変更することができます。

SHIFT ボタンを押ししながらこのボタンを押すと、4 つのモード (アルペジエーター、アルペジエーター・ラッチ、Smart Chord、Smart Scale) を切り替えることができます。モードが切り替わると、ディスプレイ上のドットが移動します。ドットはそれぞれ下記 3 つのモード名の上に表示されます。(アルペジエーターモード、アルペジエーター・ラッチモードのステータスは両方 ARP 表記の上のドットで ご確認ください)。

- **ARP** : アルペジオモードが ON の状態でドットが点灯します。
アルペジエーター・ラッチモードが ON の状態では、ドットが ARP の位置で点滅します。
- **CHORD** : Smart Chord が ON の状態でドットが点灯します。
- **SCALE** : Smart Scale が ON の状態でドットが点灯します。

(<) / (>) ボタンを両方同時に押すと、現在選択中のモードの ON/OFF を切り替えることができます。

アルペジエーターモードとアルペジエーター・ラッチモード

SHIFT ボタンを押しながら (<) / (>) ボタンでディスプレイのドットを ARP の上に点灯させると、アルペジエーターを ON にすることができます。アルペジエーターが ON になると、ディスプレイ上のドットが ARP の位置で点灯します。アルペジオの周期は現在の Tempo とタイムディビジョン設定に基づきます。

Tempo 設定は TEMPO ボタンで編集可能です。

一定のテンポで **TEMPO** ボタンを繰り返しタップするか、**TEMPO** ボタン押ししながら (<) / (>) ボタンで変更することができます。

タイムディビジョン設定は **Note Repeat** を押ししながら (<) / (>) ボタンで変更するか、

SHIFT ボタンを押しながら (<) / (>) ボタンでディスプレイ上のドットを動かし、(1/4, 1/4T, 1/8, 1/8T, 1/16, 1/16T, 1/32, 1/32T)のいずれかがラベリングされた鍵盤のいずれかを押せば変更することができます。

アルペジエーターを**ラッチモード**に設定するには、**SHIFT ボタン**を押しながら (<) / (>) ボタンでディスプレイのドットを ARP の上に**点滅**させます。

(<) / (>) ボタンを両方同時に押すと、アルペジエーターの ON/OFF を切り替えることができます。

注意：アルペジエーターは、現在のテンポの BPM 設定（内部 MIDI クロックソース）もしくは外部 MIDI クロックソースのいずれかに同期させることもできます。内部/外部クロックソースは、**SHIFT ボタン**と **TEMPO ボタン**を同時に押すことで切り替えることができます。ディスプレイに「Int」が表示される方が現在のテンポの BPM 設定（内部 MIDI クロックソース）で、「EHT」と表示される方が外部 MIDI クロックソースの設定です。アルペジエーターは、DAW モード、Preset モードのどちらでも使用可能です。

Arp Mode

Type:

- **UP**：和音の一番低いノートから一番高いノートの順番でアルペジエーターの発音を繰り返します。
- **Down**：和音の一番高いノートから一番低いノートの順番でアルペジエーターの発音を繰り返します。
- **Inclusive (Incl)**：例えば、「ド・ミ・ソ」のアルペジエーターの場合「ド・ミ・ソ」、「ソ・ミ・ド」、「ド・ミ・ソ」、「ソ・ミ・ド」のようにアルペジエーターの発音を繰り返します。
- **Exclusive (Excl)**：例えば、「ド・ミ・ソ」のアルペジエーターの場合「ド、ミ、ソ、ミ、ド、ミ、ソ、ミ、ド」のようにアルペジエーターの発音を繰り返します。
- **Order**：キーボードを抑えた順番でアルペジエーターの発音を繰り返します。
- **Random**：押さえた鍵盤のノートをランダムに繰り返し発音させます。
- **Chord**：押さえた鍵盤の和音を連続で繰り返し発音させます。

Gate：SHIFT ボタンを押しながら GATE とラベリングされた鍵盤を任意の回数押すと、アルペジエーターのノートの長さの設定を以下の範囲から設定することができます。

- 5% ~100%

Swing：SHIFT ボタンを押しながら SWING とラベリングされた鍵盤を任意の回数押すと、アルペジエーターのスイングの掛かり具合ノートの長さの設定を以下の範囲から設定することができます。

- **50%**：スイングなし
- **55%**：55% swing
- **57%**：57% swing
- **59%**：59% swing
- **61%**：61% swing
- **64%**：64% swing
- **66%**：64% swing
- **75%**：75% swing

Octave : SHIFTボタンを押しながら**0**、**1**、**2**とラベリングされた鍵盤のいずれかを押すと、アルペジエーターのオクターブレンジを瞬時に変更することができます。

- **0** : オクターブレンジ変更無し
- **1** : 1 オクターブアップ
- **2** : 2 オクターブアップ

LEDディスプレイ・パラメーター表記リスト

パラメーター	LED ディスプレイ
Type - Up	Up
Type - Down	dn
Type - Incl	inc
Type - Excl	Ecl
Type - Order	ord
Type - Random	rnd
Type - Chord	crd
Gate - 0	0
Gate - 10	10
Gate - 20	20
Gate - 30	30
Gate - 40	40
Gate - 50	50
Gate - 60	60
Gate - 70	70
Gate - 80	80
Gate - 90	90
Gate - 100	100
Swing - 50	50
Swing - 55	55
Swing - 57	57
Swing - 59	59
Swing - 61	61
Swing - 64	64
Swing - 66	66
Swing - 75	75
Octave - 0	0
Octave - 1	1
Octave - 2	2

Smart Chord コントロール

Oxygen では、**SHIFT ボタン**を押しながら **(<)** / **(>)** ボタンのいずれかを押しすると、Smart Chord 機能が有効になり、「CHORD」と印字がある真上の LED ディスプレイにドットが表示されます。LED ディスプレイには、選択中のコードも表示されます。Smart Chord 機能は演奏された鍵盤やパッドによってコードのルートノート（根音）が決まり、演奏されるコードの種類は **KEY**、**VOICING**、**TYPE** の設定によって変わります。**SHIFT ボタン**を押しながら **KEY**、**VOICING**、**TYPE** と印字された鍵盤のいずれかを押しすると、これらの設定を行うことができます。

Smart Chord モードが有効な場合、鍵盤を単音で弾くと、上記で設定した Smart Chord のコードを演奏します。この機能は DAW、PRESET の 2 つのモードで利用可能です。

Smart Chord 機能の ON/OFF を切り替えるには、**(<)** / **(>)** ボタンを同時に押します。

- **Smart Mode** : このモードでは、まずキーボードに **KEY** を割り当てます (例: "D minor"など)。次に、**VOICING** (例: "1-3-5"など) を選択します。この状態で鍵盤を押さえると、設定した **KEY** と **VOICING** の設定でコードが鳴ります。
- **Custom** : このモードでは、各キーに割り当てられるコード構成を手動で演奏して決定することができます。例えば、**SHIFT ボタン**を押しながら **CUSTOM** と印字された鍵盤を押すと、LED ディスプレイに "C5t" と表示されます。この状態で Shift ボタンを離し、例えば **1-b3-5-b7** など、最大 6 つまでの鍵盤を同時に押してカスタムコードを作成することができます。カスタムコードを作成すると、すべての **KEY** がこのコード構成で演奏されるアサインになり、押さえた鍵盤の音がルートノート（根音）となります。

印字	LED ディスプレイ
Key - C	C
Key - Db	dB
Key - D	D
Key - Eb	Eb
Key - E	E
Key - F	F
Key - Gb	Gb
Key - G	G
Key - Ab	Ab
Key - A	A
Key - Bb	Bb
Key - B	B
Voicing - 1,3,5	135
Voicing - 1,3,7	137
Voicing - 1,3,5,7	135
Voicing - 1,5,9	159
Voicing - 1,5,12	150
Voicing - 3,5,1	351
Voicing - 5,1,3	513
Voicing - Random	Rnd
Type - Major	1
Type - Minor	2
Type - Custom	C5t

Smart Scale Control

Oxygen では、**SHIFT ボタン**を押しながら (**<**) / (**>**) **ボタン**のいずれかを押すと、Smart Scale モードが有効になり、「SCALE」と印字がある真上の LED ディスプレイにドットが表示されます。Smart Chord 機能は演奏された鍵盤やパッドによってコードのルートノート（根音）が決まり、演奏されるコードの種類は **KEY**、**TYPE** の設定によって変わります。**SHIFT ボタン**を押しながら **KEY**、**TYPE** と印字された鍵盤のいずれかを押すと、これらの設定を行うことができます。

Smart Scale 機能はキーボードで弾いた音に対してのみ機能します。Smart Scale モードが有効な場合、選択中の **KEY** と **TYPE** 設定の音のみを鳴らします。この機能は DAW、PRESET の 2 つのモードで利用可能です。

Smart Scale モードの ON/OFF を切り替えるには、 (**<**) / (**>**) **ボタン**を同時に押します。

KEY : C, Db, D, Eb, E, F, Gb, G, Ab, A, Bb, B.

TYPE : Major, Pentatonic Major, Minor, Melodic Minor, Harmonic Minor, Pentatonic Minor, Custom - Dorian, Custom - Blues.

印字	LED ディスプレイ
Key - C	C
Key - Db	dB
Key - D	D
Key - Eb	Eb
Key - E	E
Key - F	F
Key - Gb	Gb
Key - G	G
Key - Ab	Ab
Key - A	A
Key - Bb	Bb
Key - B	B
Type - Major	1
Type - Minor	2
Type - Custom	C5t

DAW ボタンモード

SHIFT ボタンを押しながら DAW/PRESET ボタンを押すと、DAW モードでフェーダーボタンの機能を変更することができます。

DAW モード

- **Rec** : フェーダーボタンを押すと、DAW ソフトウェアのチャンネルに Record Arm MIDI/Mackie/Mackie/HUI メッセージを送信します。
- **Select** : フェーダーボタンを押すと、DAW ソフトウェアのチャンネルに Select MIDI/Mackie/Mackie/HUI メッセージを送信します。
- **Mute** : フェーダーボタンを押すと、DAW ソフトウェアのチャンネルに Mute MIDI/Mackie/Mackie/HUI メッセージを送信します。
- **Solo** : フェーダーボタンを押すと、DAW ソフトウェアのチャンネルに Solo MIDI/Mackie/Mackie/HUI メッセージを送信します。

DAW ノブコントロール

SHIFT ボタンを押しながらパッド 9-11 を押すと、DAW モードでノブの機能を変更することができます。

DAW モード

- **Volume**: DAW で選択したチャンネルのフェーダーをノブで操作できます。
- **Pan**: DAW で選択したチャンネルの定位をノブで操作できます。
- **Device**: DAW で選択したチャンネルのプラグイン・コントロールをノブで操作できます。
注意 : すべての DAW がデバイス・コントロールをサポートしているわけではありません。
- **Sends**: DAW で選択したチャンネルのセンド・コントロールをノブで操作できます。
注意 : すべての DAW がセンド・コントロールをサポートしているわけではありません。

MIDI チャンネルの選択

SHIFT ボタンを押しながら CHANNEL と印字された鍵盤を押すと、鍵盤、パッド、ノブ、フェーダー、ボタンからの MIDI メッセージ送信に使用する MIDI チャンネルを選択できます。

最後に触った操作子が MIDI チャンネルの設定対象となります。例えば、鍵盤を押してから SHIFT ボタンと CHANNEL と印字された鍵盤を押した場合、鍵盤の MIDI チャンネルを選択することができます。

MIDI チャンネル設定用鍵盤	LED ディスプレイ
G, 1-16	G10, 1-16

ペロシティカーブ

SHIFT ボタンを押しながら**VELOCITY**と印字された鍵盤を押していくと、鍵盤もしくはパッドのペロシティカーブを選択することができます。ペロシティカーブは、Low/Medium/High/Linearの4種類の設定と、ペロシティカーブがそれぞれ64/100/127に固定される3種類の設定から選択することができます。

最後に触った操作子（鍵盤もしくはパッド）がペロシティカーブの設定対象となります。例えば、鍵盤を押してから**SHIFT ボタン**と**VELOCITY**と印字された鍵盤を押した場合、鍵盤のペロシティカーブを選択することができます。

パッドのペロシティカーブを選択中は、すべてのパッドが点滅します。パッドは、ペロシティカーブの設定を選択してから2秒後に使用可能となります。

ペロシティカーブ選択肢	LED ディスプレイ
Low	Lo
Medium	Med
High	Hi
Linear	LIn
64	64
100	100
127	127

Panic

SHIFT ボタンを押しながら**PANIC**と印字された鍵盤を押すと、16のすべてのMIDIチャンネルの全ノートの消音（ノート・オフ）情報が送信される「パニック機能」を使用できます。

Factory Reset

Oxygenの操作子、プリセット、およびDAWを工場出荷状態に戻すには、いったん電源を切ってから、**Octave +** および**-**を押しながら電源を入れてください。セーブされたすべてのデータが初期化する操作ですのでご注意ください。

付録

ベロシティカーブ

キーボード感度

Oxygen ディスプレイ名 説明

Lo	低感度の設定で、ほぼ低いベロシティでノートを演奏する際に便利です。
Med	中感度の設定(デフォルト)で、平均的な力の強さでノートを演奏する際に便利です。
Hi	高感度の設定で、ほぼ高いベロシティでノートを演奏する際に便利です。
Lin	直線に近いカーブです。ノートのベロシティは鍵盤を弾く力の強さに比例します。
64	すべてのノートのベロシティが 64 に固定されます。
100	すべてのノートのベロシティが 100 に固定されます。
127	すべてのノートのベロシティが 127 に固定されます。

パッド感度

Oxygen ディスプレイ名 説明

Lo	低感度の設定で、ほぼ低いベロシティでノートを演奏する際に便利です。
Med	中感度の設定(デフォルト)で、平均的な力の強さでノートを演奏する際に便利です。
Hi	高感度の設定で、ほぼ高いベロシティでノートを演奏する際に便利です。
Lin	直線に近いカーブです。ノートのベロシティはパッドを押す力の強さに比例します。
64	すべてのノートのベロシティが 64 に固定されます。
100	すべてのノートのベロシティが 100 に固定されます。
127	すべてのノートのベロシティが 127 に固定されます。

DAW リスト

- **NC1** : Mackie 1から通常のMackieメッセージが送信されます。Mackieコントロールは一般にCubase、Studio One、Logic、ReaperなどのDAWソフトウェアに使用します。
- **NC2** : Mackie 2から通常のMackieメッセージが送信されます。Mackie 1との違いは、より解像度の高いパンのスイープ信号を送信できることです。Mackieコントロールは一般にCubase、Studio One、Logic、ReaperなどのDAWソフトウェアに使用します。
- **M|h** : 主にPro ToolsのようなDAWソフトウェアにMackie/HUIメッセージが送信されます。
- **N1** : MIDI 1からAbletonに通常のMIDIメッセージが送信されます。
- **N2** : MIDI 2からMPC BeatsやReasonに通常のMIDIメッセージが1セット送信されます。
- **N3** : MIDI 3からAbletonに通常のMIDIメッセージが1セット送信されます。クリップのローンチやその他のアドバンス機能に使用することができます。

注意 : NC 1 (Mackie 1) の設定でパンのスイープコントロールが左右ともに 100%の位置まで動かせない不具合がある場合は、NC 2 (Mackie 2) の設定をご使用ください。

Preset リスト

1. MPC PI
2. Hybrid 3
3. Mini Grand
4. Velvet
5. Xpand!2
6. Vacuum
7. Boom
8. DB33
9. General MIDI
10. General MIDI

MIDI ポート

Oxygen Output Ports

Messages	Windows	macOS
Preset Mode Controls, Keys, Pads, Timing Clock Messages	Oxygen ##	USB MIDI
DAW Mode Controls, Pads	MIDIOUT2 (Oxygen ##)	MACKIE/HUI
Preset Editor	MIDIOUT3 (Oxygen ##)	EDITOR

Oxygen Input Ports

Messages	Windows	macOS
Timing Clock Messages In	Oxygen ##	USB MIDI

DAW LED control, and Mackie/HUI Heartbeat Messages	MIDIIN2 (Oxygen ##)	MACKIE/HUI
Preset Editor	MIDIIN3 (Oxygen ##)	EDITOR

技術仕様

Oxygen 49

電源	USB バスパワー
サイズ (W x L x H)	814 mm x 243 mm x 94 mm
重量	2.9 kg

Oxygen 61

電源	USB バスパワー
サイズ (W x L x H)	977 mm x 243 mm x 94 mm
重量	3.4 kg

※仕様は予告なく変更になる場合がございます。

商標およびライセンス

M-Audio は、inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

AAX、Avid、および Pro Tools は、アメリカ合衆国あるいはその他の国における Avid Technology, Inc の登録商標または商標です。

Ableton は Ableton AG の商標です。

ASIO および VST は、Steinberg Media Technologies, GmbH の商標です。

Apple Store、iPad、macOS および Macintosh は、Apple Inc. の商標で、米国およびその他の国において Apple Inc. の登録商標です。

Kensington は、ACCO Brands の登録商標です。

Windows は Microsoft Corporation の登録商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

その他すべての製品名または会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

m-audio.com

Manual Version 1.1